

「遅れている」「目標に未達」の10件の対応状況

平成29年度2月末時点で「遅れている」実施計画

ID	担当課	計画の内容	2月末時点での進捗状況	行革部会の意見
8	協働推進課	地区公民館の活用の方針の策定	地区公民館の活用基本方針は、別のIDで管理している『鳥取市まちづくりガイドライン』と併せて検討してきた。平成28年度末時点で担当課としての案は完成したが、「市が主導するよりも地域が自ら推し進めていくことが望ましい」との考えから、完成を見送った。平成29年度にワーキンググループなどを開催し、市民意見を取り入れての最終的な完成を目指す。【スケジュール見直し】	・公民館の活用は、地域住民に身近なものであるため、スケジュールの見直しは妥当といえる。
10	教育総務課	学校施設での省エネ活動の推進による学習環境の改善	平成27年度から平成28年度にかけてグリーンカーテンなどの取り組みを複数の学校で取り組む計画であったが、検証に留まっている。現在はグリーンカーテン及び遮光シールの検証結果を取りまとめ中で、この結果を基にした取り組みが実施できるよう、平成29年度に検討組織を立ち上げ取り組み状況の改善を図る【スケジュールの見直し】	・学校というところは、教育環境改善のためエアコンを導入しているところもあるなど、省エネに向かいにくい類の施設だと思われる。 ・遮光シートは、古いガラスに施工すると温度差で割れることがあるので、積極的に取り組むべきかも難しいもの。 ・省エネを進めるのであれば、各校の電力使用量などを見える化した上で、削減努力をしたところには予算的な優遇などを考えてもいいのでは。
22	中央保健センター	不妊治療制度の拡充 不妊治療補助制度の創設 民間企業への不妊・不育治療休暇制度導入の奨励	民間企業への不妊・不育治療対応の啓発を行う予定といたっていたが、デリケートな問題でもあり具体的な取り組みまで行っていない。平成29年度は「仕事を続けながら不妊・不育治療が受けられる職場環境整備」を推進する手法と啓発方法の検討を実施する。検討に当たっては、他課の「働き方改革の推進」とも連携をとりながら効果的な実施を目指す。平成30年度には検討結果を踏まえた啓発活動を実施する予定。【スケジュール見直し】	・内容的に慎重になるものでもあるし、働き方改革との連携など今後の方向性は見えているので、スケジュールの見直しは妥当と考える。
36	財産経営課	各種公共施設内のスペースなどへの小規模ネーミングライツの検討	平成28年度はネットオークションを利用した公売に力を入れていたこともあり、進捗状況としては思わしくない。平成29年度以降は、命名権を提供し対価として金銭を授受するという狭義の意味だけではなく、管理作業など労働力を提供していただくという発想の制度検討を進めていく。併せて広告事業なども含め、市有財産を活用した歳入の確保や民間活力の導入といった、幅広い取り組みとしていく。【内容見直し】	・当該実施計画の小規模ネーミングライツというもののだけを捉えれば遅れているという状況ではあるが、今年度は公売に力を入れていたということと、今後は幅広く資産を活用した歳入増加に視野を広げて検討していくということなので、前向きに進んでいるものと思われる。
57	行財政改革課	第2次外郭団体の経営改善及び統廃合に関する方針の策定と土地開発公社経営健全化計画の見直し	外郭団体の2次方針は、将来的な統廃合の可能性も含めたものを定めていく予定であったが、各団体の運営費補助の適正化が優先と考え、平成28年度はその見直しの取り組みを行っており遅れたもの。土地開発公社の経営健全化計画は、保有土地処分の方角性を示すものだが、大型公共事業の動向によることも大きいため、それらも踏まえ継続検討していく。【スケジュール見直し】	・方針策定は確かに遅れているが本年度は運営費補助金の適正化を優先したとのことで、本来向かう歳出抑制には向かっているものと考ええる。保有土地の処分については周辺の状況も考慮しながら今後も取り組みを推進してもらいたい。

平成29年度2月末時点で「目標に未達」実施計画

ID	担当課	計画の内容	2月末時点での進捗状況	行革部会の意見
13	地域振興課	地域推進型移住定住の促進（空き家と移住希望者とのマッチング）	《目標：移住15世帯、2月末：移住10世帯》 支所エリアで空き家を確保し、移住希望者をマッチングする取り組みだが、目標とした移住世帯に及ばない見通し。平成29年度は各支所エリアで「空き家を管理・紹介を行っている団体に対し、移住者との成約時の報償的な制度」を設け、より一層のマッチングの推進を図る。また、移住者のニーズ把握や、マッチングに至るまでの相談の在り方も再検討する。	特記事項なし。
14	広報室	eモニター制度による政策決定のシステム化	《目標：市民意見の政策反映満足度70%、2月末：満足度47%》 eモニターは、市民政策コメントをより充実させるための先行調査として検証実施していたが、この結果を市民政策コメントに効果的に活かす仕組みの構築は困難であると判断し、検証期間を終了する。	特記事項なし。
20	広報室	登録制に基づく、職員採用試験情報及び市内誘致企業等の就職情報の配信	《目標：登録者150人、2月末：登録者18人》 県外に出ていく高校・大学の卒業予定者を登録者として募集していたが、制度自体の周知不足もあってか目標の登録者には及ばない見通し。平成29年度は登録者数を増加させるため、各種集会や定住相談会などの場でチラシを配布するほか、市民課窓口等で転出者に広報するなどの効果的な制度周知を図る。	特記事項なし。
21	政策企画課	すごい！鳥取市婚活サポートセンターの運営 参加しやすい婚活イベントの実施	《目標：成婚数15組、2月末：成婚数8組》 若者の成婚につながるよう、出会いの機会を提供する取り組みを積極的に行ってきたが、当該事業登録者の成婚組数は目標に及ばない見通し。平成29年度は、市独自のイベントだけでなく、県や民間の事業と連携し、より効果的な若者参加を目指す体制を構築する。併せて成果指標の数値の取り方も再検証する。	特記事項なし。
25	高齢社会課	高齢者を対象とした外出支援の拡充	《目標：登録者数200人、2月末：登録者数146人》 高齢者の外出支援も行う介護支援ボランティア制度を広げていく取り組みを行ってきたが、登録者数が目標に及ばない見通し。平成29年度はボランティア実施後のスタンプ(たまったスタンプに応じて報償費が支払われる)還元上限額を5,000円から10,000円に引き上げることで、より一層の制度の活性化を図る。	特記事項なし。